

樂美術館事業報告要旨

令和 3 年度 期間：2021年4月1日～2022年3月31日

I 美術館活動事業

1. 作品・資料公開活用に関して (詳細は別紙の通り)

(1) 展覧会活動

- 1) やわらかな むくもり
- 2) 特別展 玉水焼 三代
- 3) 樂歴代特別展 日本の色ー赤と黒の世界ー
- 4) 新春展 瑞獣がくるー樂歴代のふしぎなどうぶつたちー

(2) 手にふれる美術館活動

手にふれる樂茶碗鑑賞会、特別鑑賞茶会
親子で見る展覧会 解説とワークショップ 各行事、コロナ禍の為中止

(3) 他機関との協力活動

- 1)他の美術館・博物館との協力事業
- 2)その他の機関・団体との協力事業

2. 保存・修復に関して

- 1)館蔵作品の保管修理を行う。

3. 作品・資料収集に関して

- 1)作品購入を行い、収蔵作品・資料の充実をはかる。予定作品は現在は未定。

II 研究・資料図書公開事業

- 1)インターネット上での樂焼の解説、歴史概説の掲載閲覧を充実させる。
- 2)SNSを利用して、1)の利用拡大に努める。

III 学校・社会教育事業

(1) 小・中・高等学校への協力活動

- 1) 「親子でお茶一服」を開催した。
- 2) 研修授業・修学旅行学習等への協力をした。

(2) 大学、各種学校のゼミ、研究会への協力活動

(3) 地域社会への文化事業協力、社会教育活動 ※コロナ禍の為、各自粛

IV 入館者数状況

I 美術館活動事業 1. 作品・資料公開活用に関して (1) 展覧会活動

館展示事業

展示事業 1 やわらかな ぬくもり

2021年1月5日（火）～5月9日（日）

緊急時代宣言を鑑み、『やわらかな、ぬくもり』展として会期を5月9日までと、延長しました。樂茶碗は轆轤を使わず手捏ねで造られています。手の生み出すやさしい姿が人の心をほんのり温めます。利休の侘茶の精神もそうした手捏ねに宿っています。本展では、樂歴代の手捏ねの茶碗を中心に、香合や樂家の正月飾りを展示。

展示事業 2 特別展 玉水焼三代

2021年5月15日（土）～8月22日（日）

玉水焼は、樂家四代一入の婚外子・一元（1662?～1722）が元禄年間期に開窯された樂家の血脈を受けた唯一の窯です。しかし、玉水焼の詳細な歴史が残っておらず、作品と作者の確定すら大変困難な状況でありました。

長年、弊館館長・十五代樂直入が今後の研究の足掛かりとすべく、資料を基に検証し、玉水焼きの歴史・作風などを細かく分類いたしました。玉水焼の作品が一堂に会す機会はなかなかない、初となる展覧会。

展示事業 3 樂歴代特別展 日本の色一赤と黒の世界一

2021年8月28日（土）～12月24日（金）

「日本を代表する色は、何色をイメージしますか」と問えば、さまざまな答えが返ってくるでしょう。その中で伝統的な日本の色と言えばやはり「赤と黒」。

日常の器にも、また、仏教や神道の世界にも「赤と黒」は欠かすことができません。

利休がもとめ、長次郎が生み出した樂茶碗もその代表、赤茶碗と黒茶碗です。

でもなぜこの二色を、利休と長次郎は選んだのでしょうか。

そこにどのような思い、どのような思想、どのようなイメージが展開されているのでしょうか。

本展では樂茶碗の中から特に代表的な赤・黒茶碗を選び、その問いの答えを探ります。

展示事業 4 新春展 瑞獣がくる一樂歴代のふしぎなどうぶつたち一

2022年1月8日（土）～4月24日（日）※3月31

古来より、人々は暮らしの中の祈りや願い、思いを身近にいる動物や想像上の動物たちに託してきました。日本の美術にも、現れると吉兆と考えられている瑞獣や縁起がよいとされる動物をモチーフにした作品が数多く残っております。

たとえば動物そのもののかたどったものや、模様などに配されたもの、ときには名前を用い銘とした作品もあります。

本展では、樂歴代が動物たちをモチーフとした作品を集め、あたたかで柔らかい樂焼ならではの表現される靈妙な動物たちの魅力を紹介。

I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (2) 手にふれる美術館活動

1. 手にふれる樂茶碗鑑賞会

当館所蔵の作品を手に触れて鑑賞する。当館所蔵作品は、茶碗をはじめとした茶の湯工芸品である。館付属の小間茶室で茶の湯道具組を再現、その後広間に移動し、作品を手にとって鑑賞。作品の解説、質疑応答を行う。

・開催期日

コロナ禍の為、全て中止。

2. 特別鑑賞茶会

当館所蔵作品を用いての茶会形式による作品鑑賞会。館長樂直入による作品解説、質疑応答を行う。

コロナ禍の為、全て中止。

【特別開催】

コロナ禍の為、全て中止。

3. 親子でお茶一服

コロナ禍の為、全て中止。

4. 親子で見る展覧会 解説とワークショップ

コロナ禍の為、全て中止。

I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (3) 他機関との協力活動

1. 他の美術館・博物館への出品・講演など協力活動

- 1) 今出川通 日本画・茶の湯美術館連絡会（堂本印象美術館、茶道資料館、北村美術館、橋本閑雪記念館、当館）と密接に協力活動を行う。
- 2) 一般財団法人今日庵 茶道資料館
令和4年新春展「やさもの巡り② 大阪・兵庫編」
2022年1月7日（土）～4月10日（日）
樂道樂作 赤樂茶碗 銘霜住 計1点を出品協力

2. その他の機関・団体との協力活動